

教育センター学びの丘長期研修員における学びについて

湯浅町立田栖川小学校

教諭 浦西 泰子

「教育センター学びの丘長期研修員の概要について」に示した研修の概要を基に、一年間の学びについての所感を述べる。

修養では、授業改善、生徒指導、教育相談について等、様々な研修講座や研修員研修を受講する中で、よりよい学校にしていくためには、学校の組織力を高め、教員全体で諸課題や解決法を共通理解していくことが重要であることを学んだ。所属校に戻った際は、教員が一丸となって、教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っていけるように研究体制を整えていく。

研究では、所属校における県学習到達度調査の課題と、自身のこれまでの実践から見えた問題点を基に、小学校国語科において、付きたい力を明確にした単元構想と授業づくりについて追究した。所属校における提案授業では、学びの手順シートを活用した授業を展開することで、児童に学びを自覚させることができた。

今後も、「学び続ける教員」として、資質・能力の向上に努めるとともに、学んだことを次に生かせるように、常に研究と修養に努めていきたいと思う。そして、ミドルリーダーとしての役割を常に意識し、この1年で学んだことを生かしながら、他の教職員と連携し、学校力の向上に貢献できるよう研鑽を重ねていく。